学校番号	211

令和8年度　国語科

教科	国語科	科目	古典探究	単位数	3単位	年次	2 年次
使用教科書	高等学校　精選　古典探究　（大修館書店）						
副教材	1日1講　文学・古典（三省堂） 新訂　総合国語便覧（第一学習社） 国語便覧ワークノート（第一学習社） 新精選　古典文法　三訂版（東京書籍） 新精選　古典文法　準拠ノート　改訂版（東京書籍） 入門・句法をマスターする漢文クリアノート（尚文出版） 三訂版　みるみる覚える古文単語 300＋敬語 30（いいずな書店） リード古文2（啓隆社）						

1 担当者からのメッセージ

・昨年度言語文化で身に着けた古典分野の基礎知識の定着と深化のための学習をします。
・高校生としてぜひ知っておきたい古文・漢文作品を読み味わいましょう。
・文章記述、話し合い、発表などは主体的に取り組みましょう。
・予習と復習により、学習内容の定着を図りましょう。
・まとまった長さの文章題に取り組むことで、希望する進路にもつながる力を養いましょう。

2 学習の到達目標

【a観点】古典の文章読解のために必要な知識や技能を習得し、作品やその背景に対する理解を深める。
【b観点】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典を通した先人のものの見方、感じ方、考え方とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【c観点】言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持とうとしている。
評価の方法	小テスト、定期考査 学習課題の提出	定期考査 学習課題の提出 発表・報告 行動の観察	学習課題の提出 授業態度 行動の観察 リフレクションシート等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価基準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期 35時間	説話 【教材】 「今昔物語集」 安倍晴明	a. 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 a. 古典などを読むことをとおして、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 b.[読]文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。 b.[読]古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することをとおして、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 c. 説話文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 c.「今昔物語集」と小説「陰陽師」、漫画「陰陽師」を読み比べ、メディアの表現の差を理解しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
	随筆 【教材】 「枕草子」 中納言参りたまひて	a. 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 a. 古典を読むために必要な文語のきまりや文法のきまりについて理解を深めている。 b.[読]必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 b.[読]古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c. 作者のものの見方を理解し、自分の体験や経験に引き寄せて考えようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
	漢文 【教材】 「画竜点睛」 「両頭蛇」	a. 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 a. 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 a. 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 b.[読]文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。 b.[読]古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりしている。 c. 故事成語に興味をもち、日本の言語文化に与えた影響について理解積極的に調べようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート

2 学 期 45 時 間	日記 【教材】 「更級日記」 源氏の五十余巻	a. 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b.[読]必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 b.[読]作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c. 作品の文学史的な位置づけを理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。 c.「更級日記」や作者について関心をもち、女流日記文学への理解を深めようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
	物語 【教材】 「源氏物語」 光源氏の誕生 藤壺の入内 若紫との出会い	a. 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 a. 古典などを読むことをとおして、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 b.[読]文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。 b.[読]作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c. 作品の文学史的な位置づけを理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。 c. 平安時代の貴族文化をふまえて、登場人物の境遇や心情を理解しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
	漢文(2) 【教材】 「漢詩」 登岳陽楼 「史記」 鴻門の会	a. 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 a. 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b.[読]文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。 b.[読]書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c. 作品に興味をもち、そのほかの旅情詩や日本の紀行文などについても積極的に調べようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート

3 学 期 25 時 間	物語(2) 【教材】 「大鏡」 花山院の出家	a. 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 a.古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 b.[読]古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 b.[読]必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c. 歴史物語の特徴をふまえ、人物や事件についての作者の視点を考えようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
	「平家物語」 能登殿最期	a. 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 a. 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 b.[読]古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c. 語り物の優れた表現を味わい、歴史的背景をふまえて解釈しようとしている。			
	和歌・歌謡・歌論 【教材】 「古今和歌集」 「新古今和歌集」	a. 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 a. 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 a. 我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 b.[読]必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 b.[読]古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c.「真名序」や漢詩と比較し、「仮名序」における和歌がどのようなものかを理解しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート

年間の各領域時間数
・読むこと〔105時間〕